



《大牟田市からのお知らせ》

がん検診で早期発見・早期治療を！

わが国では、2人に1人が「がん」にかかり、3人に1人が「がん」で命を落としています。がんは誰でもかかる可能性のある病気です。しかし、近年の医療技術の進歩などにより、一部のがんは早期発見・早期治療で完治の可能性も高くなりました。早期がんはほとんど症状がありません。自分のために、愛する家族のために自覚症状がなくても定期的ながん検診を受診しましょう。

●がんの統計データ

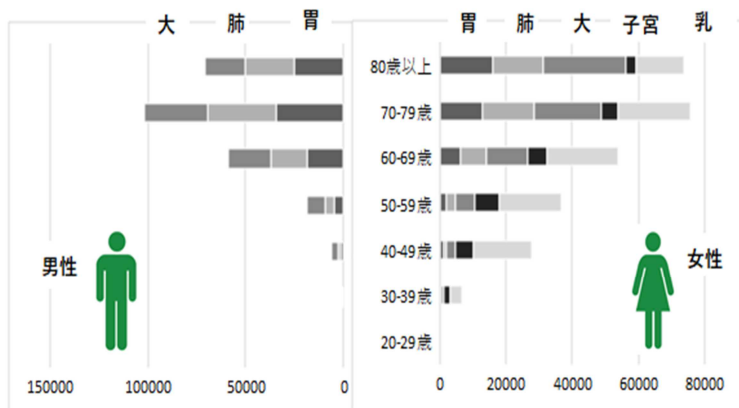
-部位別がん死亡数-

- 部位別死亡数では、男性は肺がん、女性は大腸がんが1位となっています。
- 女性では近年、乳がん、子宮頸がんが増加傾向にあり、若い世代でかかる率が高くなっています。

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓
女性	大腸	肺	膵臓	乳	胃

国立がん研究センターがん情報サービス(2021 データ) より

-全国年齢階級別推定罹患数-



国立がん研究センター情報サービス「がん統計」(全国がん登録)より(2019)

●がん検診の「メリット」「デメリット」を知っておこう！

◆メリット◆

- ・最大のメリットは、早期発見、早期治療による高い救命の効果です。
- ・がんは早期であれば治せる可能性が高く、身体的、精神的負担に加え、経済的負担が軽減できます。
- ・がんになる前段階の病変（ポリープや潰瘍、異型上皮など）が見つかることがあります。適切に治療することで、がんになることを防ぐことができます。

◆デメリット◆

- ・がん検診の判定、診断結果が100%正しいわけではありません。がんのできた場所や種類によっては検査で見つけづらく、見逃されることもあるのが現状です。ただし定期的に検診を受けることで、がん発見の確率は高まります。
- ・がんの疑いがあると判定されて精密検査を受けても、がんが見つからないこともあります。早期発見・早期治療のためにはある程度やむを得ないことですが、結果的に不必要な検査につながることもとなります。

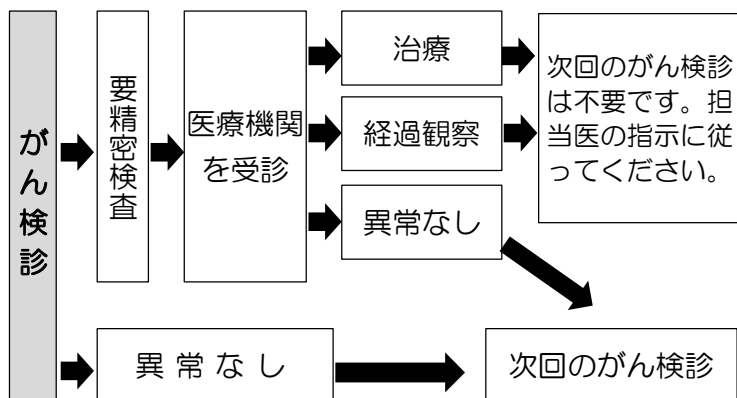
●がん検診の流れ

※がん検診対象は症状のない健康な人となります。自覚症状のある人、治療中の人、過去にがんの治療を受けた人は医療機関で受診しましょう。

※がん検診では病名を診断することはできません。「要精密検査」と判定された場合、がんの疑いを含め異常があると判断されたということです。必ず医療機関で精密検査を受けましょう。

●精密検査結果について

医療機関で受けられた精密検査の結果は、国の指針に基づき、がん検診の精度管理のために、大牟田市、検診機関、精密検査実施医療機関で情報を共有させていただきます。ご理解のほどお願い申し上げます。また、精密検査を受診していない人には、大牟田市の看護師等が自宅に訪問することがあります。



がん検診の種類と検診内容について

—各がん検診の検診内容は、国の指針によるものです—

胃がん検診	対象：満 50 歳以上の人 受診間隔：2 年度に 1 度
検診内容：問診、胃内視鏡検査	
●口や鼻から内視鏡を挿入し、食道、胃、十二指腸など胃の内部を観察します。ポリープ等の病変が見つければ、病変の一部を採取して悪性の有無を調べることもあります。	
精密検査（医師の指示で内容は変わります）。	
胃内視鏡検査： 検診時に同時に行う生検(病変の採取)や胃内視鏡検査の再検査を行います。	
大腸がん検診	対象：満 40 歳以上の人 受診間隔：1 年度に 1 度 ※女性のがん死亡原因の第 1 位
検診内容：問診、便潜血検査	
●便に血液が混じっていないかを調べる検査です。 ※月経中の方は受診いただけません。 ※病変から常に出血しているとは限りませんので、精密検査の代わりに「便潜血検査」を繰り返すことはできません。 一度陽性の反応が出たら、必ず精密検査を受けてください。	
精密検査（医師の指示で内容は変わります）。	
全大腸内視鏡検査： 肛門から内視鏡を挿入して大腸内を詳細に調べます。ポリープ等の病変が見つければ、病変の一部を採取して悪性の有無を調べることもあります。	
注腸エックス線検査： 肛門からバリウムと空気を注入し、大腸のエックス線写真を撮ります。がんやポリープ等の正確な位置や大きさ、腸の狭さの程度などがわかります。	
大腸 CT 検査： 肛門からガスを注入し大腸を拡張させエックス線で撮影し、腸の病気やポリープを見つける検査です。 ※全大腸内視鏡検査が困難な場合は、S 状結腸内視鏡検査と注腸エックス線検査の併用になります。	
肺がん検診	対象：満 40 歳以上の人 受診間隔：1 年度に 1 度 ※男性のがん死亡原因の第 1 位
検診内容：問診、胸部エックス線検査、喀痰細胞診(対象者のみ)	
●肺がんは死亡者数が最も多いがんです。 ●肺がんの予防には禁煙が重要です。たばこの健康被害は「がん」だけでなく生活習慣病の危険因子にもなっています。また、喫煙者本人だけでなく周りの人(受動喫煙者)の肺がんリスクも上げてしまいます。	
精密検査（医師の指示で内容は変わります）。	
CT： コンピューター断層撮影のことで、エックス線で病変が疑われた部位の断面図を撮影します。	
気管支鏡検査： 気管支鏡を口や鼻から気管支に挿入し、病変が疑われた部位を直接観察します。必要に応じ、組織や細胞を採取し悪性かどうか診断します。	
子宮頸がん検診	対象：満 20 歳以上の女性 受診間隔：2 年度に 1 度 ※30～40 歳代の女性で増加傾向
検診内容：問診、視診、細胞診	
●子宮頸部(入口)をブラシで軽くこすって細胞を採り、がん細胞など異常な細胞がないかを顕微鏡で調べる検査です。 ※生理中は細胞がうまく採取できない可能性が高くなるため受診を避けてください。	
精密検査（医師の指示で内容は変わります）。	
コルポスコピー診： コルポスコピー(膣拡大鏡)を使って子宮頸部を詳しく調べます。異常な部位が見つければ、組織の一部を採取して悪性かどうかを判断します。	
HPV検査： 子宮頸部から細胞を採取し、HPV(ヒトパピローマウイルス)に感染しているかどうかを調べます。	
乳がん検診	対象：満 40 歳以上の女性 受診間隔：2 年度に 1 度
検診内容：問診、乳房エックス線(マンモグラフィ検査)	
●乳房を片方ずつ、プラスチックの板にはさんで撮影し、しこりがないかを検査します。	
精密検査（医師の指示で内容は変わります）。	
マンモグラフィ： 病変が疑われた部位を詳しく観察するため、追加撮影などをします。	
乳房の超音波検査： 超音波で疑わしい部位を詳しく観察し、病変の有無、形、大きさなどを確認します。	
細胞診、組織診： 病変の疑われた部位に針を刺して、細胞や組織を採取し、悪性かどうか診断します。	
MRI 検査： MRI 装置で乳房を撮影し、病変の有無、形、大きさを確認します。	
検査実施医療機関	【問合せ先】
	大牟田市健康づくり課 (保健センター2 階)
	TEL：0944-41-2668 FAX：0944-41-2675